

第 23 回北東アジア地域研究会・国立民族学博物館拠点（月例会）報告
（超域フィールド研究会との共催）

平成 30 年 10 月 11 日に国立民族学博物館において、第 23 回北東アジア地域研究会・民博拠点（月例会）を超域フィールド研究会と共同開催いたしました。

フランス国立古文書学校／フランス国立科学研究センター研究ユニットのナサン・シュランガー（Nathan Schlanger）氏をお招きして、「アンドレ・ルロワ＝グーランと 20 世紀半ばの技術の研究（André Leroi-Gourhan and the study of technology in the mid-twentieth century）」と題してご発表いただきました。今回はフランスの 20 世紀を代表する人類学者、考古学者であるアンドレ・ルロワ＝グーラン(1911-1986) の先駆的業績について、日本に滞在した 2 年間（1937 年 5 月～1939 年 3 月）を含めて紹介していただきました。本会には北東アジア地域研究民博拠点の構成員 4 名を含めて 20 名が参加いたしました。

